

競技注意事項

阪神中学校総合体育大会

1. 競技規則について

本大会は、2022年度（財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定によって行う。

2. 招集について

- (1) 競技者招集場所は補助競技場入口付近に設置する。但し、リレーの招集は現地招集とする。
- (2) 招集時刻は、その競技開始時刻を基準として下記のように定める。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック 競技	競技開始25分前	競技開始15分前
フィールド競技	競技開始40分前	競技開始30分前
棒 高 跳	競技開始50分前	競技開始40分前
リレー（現地）	競技開始20分前	競技開始10分前

(3) 招集の手順

- ①競技者は招集開始時刻に集合し完了時刻までに点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイクピンの長さ（走高跳12mm以下、その他は9mm以下、先端が鋭利なもの不可）・衣類および競技場内への持込物品等の点検を受けたあと、係員の誘導に従って入場する。
- ②招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものと処理する。
- ③2種目に出場し、競技時間や招集時間がかさなっている場合は、あらかじめ本人が文書を添えて申し出ること。用紙は招集場所に準備される。
- ④四種競技出場者の招集については最初の種目のみ招集場で行うが、2種目以降についてはトラック種目は競技開始時刻の10分前、フィールド種目は20分前に現地に集合完了すること。
- ⑤競技への出場をやむを得ず棄権する時は、招集開始時刻までに当該選手の監督もしくは選手本人がその旨を競技者係に申し出ること。
四種競技出場者が途中で棄権する場合は、混成競技審判長に申し出ること。（競技規則第200条10）

3. TR5 競技用靴の対応について

本大会はTR5.2（TR5：競技用靴）を適応する。

規定シューズ以外のものを使用している場合は出場不可もしくは失格とする。

4. 競技運営について

- ①トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号で示す。
- ②トラック競技の計時は写真判定(1/100秒)とし同記録の場合は、より細かく優劣を判定して順位を決定する。(1/1000秒で確認する)
- ③トラック競技のスタートにおいて競技者は、最終の用意の姿勢をとった後、信号器の発射音を聞くまでスタート動作を開始してはならない。競技者が少しでも早く動作を開始したとスターター（あるいはリコーダー）が判断したときは不正スタートとなる。（競技規則第162条7）
- ④スタートについては、『イングリッシュコマンドとし、1回目に不正スタートをした者を失格』とする。なお、混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、すべて失格とする。（競技規則第162条8）
- ⑤スタートにおける不適切行為は、競技規則第162条5を適用せず注意にとどめる。
- ⑥リレー競技のマーカ―は1カ所とし、各自で準備した粘着テープ等を使用する。（競技規則第170条⑩）なお、使用したマーカ―は前走者が撤去すること。
- ⑦リレーチームの編成メンバーは、その競技会にリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場できる。但し、少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者であること。（競技規則第170条10）
- ⑧リレーチームの編成（オーダー用紙）は、競技開始時刻1時間前までに各校代表者1名が本部記録室に提出する。（競技規則第170条11）共通リレーについては、できる限り1日目に提出すること。2日目のリレー競技開始1時間前までは、メンバーの変更を認める。なお、オーダー用紙は事前にホームページからダウンロードすること。
- ⑨短距離走では、競技者の安全のためフィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- ⑩競技者に対する助力については、競技規則第144条を適用するので十分に気をつけること。
- ⑪競技場での競技前の跳躍・投擲練習は、競技役員の手配によって行うこと。

⑫2種目以上の競技に同時に出場するときは、審判長の判断で、フィールド競技については1ラウンドに一度、(走高跳・棒高跳については各試技に一度)試技順を変更して出場することができる。

⑬フィールド競技のマーカ―(主催者が準備したもの、または承認したもの)は、2個まで置くことができる。このようなマーカ―が準備されない場合は粘着テープ等を使用してもよい。(競技規則第180条3(a))

⑭四種競技の競技順は次の通りとする。

男子 — 110mH・砲丸投・走高跳・400m

女子 — 100mH・走高跳・砲丸投・200m

⑮ウォーミングアップは全て補助競技場で行うこと。砲丸・円盤を使つての投てき練習は、競技開始前の公式練習以外は一切禁止する。但し、補助競技場内にメディシンボール等を使つた基本練習ができる区域を設ける。その他の場所では一切行わないこと。

(1日目は8時45分まで、2日目は9時までトラックでのウォーミングアップを許可するが、出場選手以外の使用は禁止する)

⑯決勝進出は1000m～8000m・ハードルは予選タイム上位8名、共通男子15000mは16名とする。1年生女子8000m・1年生男子15000m・共通女子15000m・共通男子30000mはタイムレース決勝とする。

15000m以上の種目では先頭に1周抜かれた場合は、競技を中止させる場合がある。

⑰8000mの予選については、各組12名程度とし、オープンスタートとする。

⑱跳躍競技のバーの上げ方は次の通りとする。

走高跳 男子 1m35(練習) 1m40 ～1m65まで 5cmずつ 1m68以上 3cmずつ

(四種) 1m30(練習) 1m35 ～1m60まで 5cmずつ 1m63以上 3cmずつ

走高跳 女子 1m20(練習) 1m25 ～1m45まで 5cmずつ 1m48以上 3cmずつ

(四種) 1m15(練習) 1m20 ～1m40まで 5cmずつ 1m43以上 3cmずつ

棒高跳 2m00(練習) 2m00 ～3m00まで 20cmずつ 3m10以上 10cmずつ

※走高跳・棒高跳の決勝では、最後の一人になり優勝が決まるまで、上記のバーの上げ方をする。

さらに、1位・6位が複数人になった場合、順位決定戦を行う。

(順位決定の場合のバーの上げ下げは走高跳2cm、棒高跳5cmとする。)

⑲フィールド競技において、次の記録に達しない場合は測定しないことがある。ただし、天候などの条件により、下記の記録を変更する場合がある。

走幅跳 男子(5m10) 女子(4m10)

三段跳 (10m30)

砲丸投 男子(7m50) 女子(8m00)

円盤投 男子(18m00) 女子(18m00)

⑳競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外は全て主催者が用意したものを使用しなければならない。また、練習用としても個人の用器具(旗・ボールを含む)を競技場内に持ち込んではいけない。

5. アスリートビブスについて

①競技者は、競技中、胸と背にはっきりと見えるように2枚のアスリートビブスをつけなければならない。

跳躍種目については、胸または背につけるだけでもよい。アスリートビブスはプログラムに記載のものと同じナンバーでなければならない。(競技規則第143条⑦)

②トラック競技出場者は、腰ナンバーカードをランニングパンツ右側上部やや後方につける。

(腰ナンバーカードは招集時に受取り、競技終了後ゴール地点で返却する。)

6. 表彰について

各種目3位までの入賞者は、決勝終了後競技役員または補助員の指示に従い会議室にて待機する。他の種目と重なる場合は係に申し出て代理人を出すこと。

7. その他

①各種目6位までに入賞した者は、7月26・27日に開催される県総体に阪神地区代表として推薦するので、決勝競技終了後、会議室前で手続きを行う。県総体への出場を棄権する場合は必ず本部に連絡すること。また、棄権者が出た場合は、7位以下の選手を繰り上げて推薦するので放送があれば直ちに手続きをすること。

なお、競技マナーの悪い選手(チーム)・監督に対しては推薦をしない場合がある。

②応援は、声を出さずに拍手で行うこと。

③競技開始後の選手の出入りは補助競技場出入口(第2コーナー)のみとし、走幅跳・三段跳の選手以外は本部前の通行は禁止する。但し、朝は指定された出入口を使用すること。

- ④競技場への入場は、競技者、大会役員、チーム関係者（顧問・外部コーチ・引率教員）、補助員、3年生の保護者のみとする。ただし、3年生保護者は、メインスタンドのみとする。付き添いは助力とみなされ失格の対象になる。
- ⑤貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは各自・各校で必ず持ち帰ること。
- ⑥不審者や不審な行為を見つけた場合はすみやかに近くの競技役員に連絡すること。
- ⑦競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者でおこなう。その後の処置については、各校の責任において、日本スポーツ振興センターの定めを適用する。
- ⑧遊びや、買い物で顧問の許可なく勝手に公園外に出ないこと。
- ⑨他校生とのトラブルに発展するような行為や、悪ふざけ等マナーの悪い行為は慎む。競技会に影響するような問題が発生した場合、当該校の出場を取り消す処置をとる場合がある。
- ⑩競技場内への携帯電話・トランシーバーなど、指導者からの助力を得ることが疑われる物の持ち込みは一切禁止とする。